

第71回中小企業団体全国大会

『新時代の幕開け 団結でひらく 組合の未来
～時空を超えて 舞台は鹿児島から～』



鹿児島県中央会会長 小正 芳史 氏

全国中央会会長 森 洋 氏

大会決議26項目

- I. 中小企業・小規模事業者等の生産性向上支援等の拡充
 1. 中小企業・小規模事業者の持続的な成長と生産性向上に向けた対策の強化
 2. 生産性向上に向けた人材育成の強化
 3. 地方創生推進に向けた対策の強化
 4. 事業承継・後継者育成等への支援策の拡充と組合支援措置の強化
 5. 中小企業組合・中央会に対する支援の拡充
- II. 中小企業の実態を踏まえた労働・雇用・社会保険料対策の推進
 1. 働き方改革の実現に向けた中小企業への配慮
 2. 中小企業の人材確保・定着対策
 3. 地域の実情を踏まえた最低賃金の設定
 4. 外国人技能実習制度の円滑化と拡充
 5. 外国人材の受入れ体制の整備
 6. 雇用保険制度の見直し
 7. 障害者雇用への中小企業支援策の拡充
 8. 国による職業訓練機能の拡充・強化
 9. 社会保険制度等の整備
- III. 震災復旧・復興支援、豪雨等による災害対策の拡充
 1. 東日本大震災、熊本地震、北海道胆振東部地震、豪雨災害等に対する復旧・復興の更なる推進
 2. 福島復興・創生に向けたきめ細かな対策の実施
 3. 地域の防災・減災対策の強化推進
- IV. 中小企業・小規模事業者の積極的な事業活動を支える環境整備
 1. 中小企業金融施策の拡充
 2. 中小企業・組合税制の拡充
 3. 中小製造業等の持続的発展の推進
 4. エネルギー・環境対応への支援の拡充
 5. 卸売・小売業・まちづくりの推進、中心市街地活性化に対する支援の拡充
 6. サービス業支援の強化・拡充
 7. 官公需対策の強力な推進
 8. 海外展開に対する支援の拡充
 9. 公正かつ自由な競争の確保

全国中小企業団体中央会、鹿児島県中小企業団体中央会は11月7日、鹿児島市・鹿児島アリーナにおいて、第71回中小企業団体全国大会を開催した。

当日は、鹿児島県知事・三反園訓氏、鹿児島市長・森博幸氏のほか、経済産業省、厚生労働省等の関係各機関より多数の来賓が臨席し、全国から中小企業団体の代表

者等約3,000名（本県からは27名）が出席した。

大会では、鹿児島県中小企業団体中央会会長・小正芳史氏を議長に、中小企業・小規模事業者等の生産性向上支援等の拡充、労働・雇用・社会保険料対策の推進、災害対策の拡充、事業活動を支える環境整備等、国への要望26項目を決議し、満場一致で採択した。



組合功労者
串田紀之氏
((協)群馬県機械設備工業会 理事長)



優良組合
赤帽群馬県軽自動車運送(協)
(理事長 赤間美代子氏)

続いて表彰式が行われ、優良組合34組合、組合功労者86名、中央会優秀専従者22名が受賞の栄に浴した。本県からは、優良組合として赤帽群馬県軽自動車運送協同組合(理事長・赤間美代子氏)、組合功労者として協同組合群馬県機械設備工業会理事長・串田紀之氏、中央会優秀専従者として本会情報課蛭川圭一課長補佐がそれぞれ受賞した。



万歳三唱



大会旗の継承

次期全国大会については、令和2年10月22日(木)に、茨城県水戸市において開催することが発表され、大会旗が全国中小企業団体中央会会長・森洋氏から茨城県中小企業団体中央会会長・阿部真也氏へ手渡された。

最後に、独立行政法人中小企業基盤整備機構理事長・豊永厚志氏の音頭による万歳三唱で閉会となった。

中央会コース

本会では、全国大会に併せ、2泊3日の中央会コースを設定した。

大会前日となる11月6日に群馬県を出発。初日は指宿温泉を代表する老舗旅館「白水館」に宿泊し、「砂むし風呂」を体験した。翌7日には「知覧特攻平和会館」を訪問し、全国大会に参加した後、夕食は鹿児島名物「黒豚料理」を堪能した。最終日の8日には、桜島遊覧クルーズを楽しんだ後、鹿児島県の観光名所である「仙巖園」を訪れ、帰路に就いた。



黒豚料理を堪能する参加者



仙巖園で記念撮影



桜島遊覧クルーズ

人材育成事業 中堅リーダー研修

10月9日～11日の3日間、渋川市・ホテル天坊において、中堅リーダー研修を開催した。

本研修は、中間管理・監督者を対象に、リーダーシップやマネジメントスキルの養成を目的に実施しており、今回で53回目の開催となる。県内企業から30人が参加した。

講師は経営教育コンサルタントの雨宮利春氏が務めた。



講師の雨宮利春氏→



グループ討議に熱が入る

研修では、リーダーシップを

「影響力」と定義。その中でも、部下に奉仕し導くことで、組織を個人の成功で満たす「サーバントリーダーシップ」の考え方を紹介した。その上で、自律型人材を育成するための部下指導法、コミュニケーションスキル等を解説した。3日間とも、多くのグループ討議やロールプレイングが用意され、受講者は積極的に参画した。

研修の最後には、受講者それぞれが今後の意気込みを「決意書」としてまとめ、各グループの代表者が発表した。



研修を終え、決意表明する受講者

ものづくり補助金フォローアップ事業 販路開拓・販売促進支援セミナー

10月23日、前橋市・群馬県公社総合ビルにおいて、「販路開拓・販売促進支援セミナー」を開催した。

本セミナーは、ものづくり補助金フォローアップ事業の一環として、今後の海外戦略構築の一助とするべく実施したものである。日本貿易振興機構（ジェトロ）群馬貿易情報センター所長・柴原友範氏を講師に招き、「製造業を取り巻く海外情勢と中小企業の海外展開事例」をテーマに講演を行った。フォローアップ支援対象となっている、平成24年度～平成29年度の採択事業者より、22名が参加した。



講師の柴原友範氏

柴原氏は、まず製造業を取り巻く海外情勢として、米中摩擦の動向や市場への影響等を説明した。

次いで、「製品の差別化の可否」「対象市場の広さ」の2つの軸から海外戦略を4つに分類。また、海外展開を実際に進める手法についても、「経営者が行動的か、計画的か」「自社資源を活用したいのか、外部資源を積極的に活用するか」の2つの軸から4つに分類した。各戦略・手法について、最新事例を紹介しながら解説した。



海外展開のノウハウを学ぶ